

翼の王国

ANA Inspiration of JAPAN | A STAR ALLIANCE MEMBER

8

ANA グループ機内誌
The Inflight Magazine
of ANA Group
August 2024
No.662

ウィーン、羨ましい生活

「変わらない東京」の
豊かな進化

翼の流儀
機長と整備士が語る愛すべきA380



ANA 翼の王国は、こちらから

航空機に搭載された機内誌は、機内でのみ閲覧いただけます。



翼の王国



写真/秋田大輔(CAFÉ KORB:ウィーン)

特集 ウィーン、羨ましい生活

018 ENVIABLE LIFESTYLE IN VIENNA

特集 「変わらない東京」の豊かな進化

038

パラダイス山元の快適な空だけの旅
なにもしないハワイ旅

036

翼の流儀 A New Ambitious Story
機長と整備士が語る愛すべきA380

062



写真/原ヒデトシ(宮津:京都)

004 ごあいさつ

034 花、旅、人 アリウム/赤井勝

007 社員が見つけた! Local Premium通信

052 旅するお取り寄せ 秋田/ツレヅレハナコ

010 旅の出会い アルゼンチン/シシド・カフカ

056 ニッポン47妖怪さんぽ 件 宮津:京都/森井ユカ

012 松丸亮吾の謎解きde世界一周 キューバ

060 旅で潤う 大谷山荘:山口/笹野美紀恵

014 オーランドの空の下で/国枝慎吾

068 おべんとうの時間 秋田/阿部了・阿部直美

017 雲の上の診察室/清水俊彦

072 ライト、フライト 枕草子の、をかし、を見つげに/大宮エリー

076 郵便飛行 077 アンケートご協力のおかげ/バックナンバー販売のお知らせ 078 翼ニッポン探訪

080 ANA GROUP INFORMATION 092 ANA STORE@SKY案内、国際線機内販売 商品ラインアップ

100 機内オーディオ/ビデオ番組案内 102 ANAグループ航路図

翼の王国 No.662 2024年8月1日 発行:ANA「翼の王国」編集部 〒105-7140 東京都港区東新橋1-5-2 発行人:全日本空輸株式会社 制作:株式会社 光文社
編集統括:田邊浩司 編集人:二村勉史 スーパーバイザー:山下マヌー 編集:中野桜子、山下美咲、仲本剛、股部広子、小嶋美樹、高田真利絵、藤沢緑彩、斎藤崇子、和田紀子
デザイン:カメガキデザインオフィス/松澤順一郎、石川直美 スタジオギブ/山本雅一、野崎二郎、近藤礼彦
トリムデザイン/塚原敬史 attik/橋田浩志 横山希
編集協力:株式会社キャストネット/川元賢司、所裕子 印刷:共同印刷株式会社
【記事に関するお問い合わせ】株式会社 光文社 tel 03-5395-8150
【広告に関するお問い合わせ】ANA X株式会社 ライフサービス事業推進部 ml_notice_anamedia@ana-x.co.jp
©All Nippon Airways/Kobunsha2024 本誌掲載の写真・記事の無断転載および複写を禁じます。本誌に記載されている価格はすべて税込み価格です。

◎毎月1日以降に表紙や各ページのQRコードからリンク先への遷移が可能になります。



本冊子は地球環境に配慮し、森林資源を守るための国際的な森林認証制度のひとつであるFSC® (Forest Stewardship Council® 森林管理協議会)の基準に基づいて生産されたFSC®森林認証紙を使用し、植物油系インクを使用しています。



一生ものを訪ねて 鹿児島「島津薩摩切子」

未来へつづくものづくりを

世界文化遺産 仙巖園に隣接する工房では、薩摩切子の技を目の前で見ることができる。「深く大胆なカットと細やかなカットを組み合わせ、そこに色のグラデーションが入ることが魅力。手にすると華やかで、覗き込むと繊細に輝く。目線を変えながら楽しんで」と、薩摩切子職人で作家の中根櫻龜さんは言う。



島津薩摩切子 二色タンブラー

「100年前につくられた薩摩切子の美しさや技術には驚かされます。時代の感性を取り入れながら、今つくるものも100年後に心を動かすものでありたい」ザ・パークハウスも思う。暮らしに喜びを届けるマンションでありたい。そして、暮らす方々にとって、かけがえのない一生ものであり続けたい。



web版はこちらへ

一生ものに、住む。
ザ・パークハウス



The Parkhouse



**分割統治時代諜報部の本部
GRAND FERDINAND**

Schubertring 10-12, 1010 Wien
<https://grandferdinand.com>

スパイ暗躍時代、オーストリア諜報部の本部だった建物を改装したホテル。「当時は誰もそのことに気づいていませんでした」（広報／ポネッツさん）という。ホテル内のレストランは、オーストリアのソウルフードであるシュニツェルでミシュランの星を獲得。

**映画を通して知る
戦後のウィーン**

THIRD MAN MUSEUM

Preßgasse 25, 1040 Wien
<https://www.3mpc.net>

ホフラさん夫妻が運営する、映画『第三の男』ミュージアム。映画の舞台裏や戦後の分割統治時代の様子を知ることができる。妻のカレンさんは日本語のガイド資格保持者。ガイドブックでは知り得ない深い話を聞かせてくれる。



▲「ウィーン特集」はWeb『翼の王国』でもお楽しみいただけます。本誌未掲載のWeb限定記事もぜひご覧ください。



**フロイトの診療室を再現
Sigmund Freud Museum**

Berggasse 19, 1090 Wien
<https://www.freud-museum.at/en/>

フロイトは後の心理学や精神医学の発展のみならず、文学や芸術、哲学などの領域にも影響を与えた。彼の理論は人間の行動や思考に重要な示唆を与えたため、大衆運動に一定の刺激をもたらしたともいえる。



文化と
民衆運動の軌跡

**1926年完成。
「最も美しい」市民プール**

Amalienbad

Reumannpl. 23, 1100 Wien
<https://www.wien.gv.at/freizeit/baeder/uebersicht/hallenbaeder/amalienbad.html>



ウィーン市上院上級評議会部長
トイベンバッハーさん
「労働者に良い休息を提供するという背景もあり、良質な公共施設が作られました」

現代に残る大衆運動と歴史の遺産を訪ねる
1918年のオーストリアはハンガリー帝国解体のきっかけとなった大衆運動は、市民に充実した公共施設を提供することにも繋がった。これらの施設の一部は、現在国の重要施設に指定されている。また第二次世界大戦後の連合国による分割統治やスパイの暗躍など、ウィーンには現代に繋がる歴史を感じさせる場所も多く存在。それらを訪れることで、ウィーンをより深く理解することができる。